

第4回「東海財界倶楽部」例会開催

「企業不祥事を与える影響」

日本公認会計士協会東海会堀江正樹会長講演



堀江正樹会長

午後六時四十五分からの第一部では、日本公認会計士協会東海会会長の堀江正樹氏を講師に迎え、演題を「企業不祥事が会社経営に与える影響」として講演。粉飾決算等の会社レベルの典型的な不祥事や、背任等の個人レベルの不祥事だけに留まらず、消防法の届け出違反やサービス残業不

平成二十六年八月四日、第四回「東海財界倶楽部」例会が開催された。同会は東海地方で活躍する経営者を中心とした異業種交流会。当日は日本公認会計士協会東海会の堀江正樹会長が、演題を「企業不祥事が会社経営に与える影響」と題して講演。親睦会などが行われた。

平成二十六年八月四日、名古屋 東急ホテル四階「栄の間」(名古屋市中区栄四一六一八 ☎〇五二―二五一―二四二一)にて、第四回「東海財界倶楽部」例会が開催された。

「東海財界倶楽部」は、愛知県・

岐阜県・三重県に拠点を有するトップ経営者を中心とした異業種交流会。経営者同士の知識・情報の交換および意識向上の機会を設けることを目的とする。

第四回の例会となる当日は、午後六時から受付を開始。正会員・

準会員を含め中部地区で活躍する経営者らが出席。夏期休暇を目前に、参加者は通常よりやや少ない人数となった。

払い、ソフトウェアのライセンス契約問題、カルテルなどの独占禁止法違反などについて海外事情を含めて説明。

また、従来は不祥事と捉えられてこなかった海外での贈収賄やセクハラ・パワハラ問題、見解の違いによる税法違反などといった「マスコミ的な不祥事」、見逃しがちな決算期の経費処理、USBメモリなどによる機密情報漏えい、下請け業者への支払い遅延、他社の特許侵害、固定資産の届け出漏れなどにも警告。企業イメージ低下につながる様々なケースを例示した。

一〇分の休憩を挟んで、午後七時四十五分からの第二部では、ホクセイ代表取締役社長の山下三男氏の音頭で乾杯。「この場に集った人の健康を祝して」の言葉が笑いを誘った。

タインテーブルの着席形式での晚餐を交えた親睦会が和やかに行われ、最後はメタルロボ代表取締役の稲山誠氏による一本締めで中締めが行われた。